

NPOきらきら発電第2回総会に28名参加



4月29日のきらきら発電第2回総会では、水戸部理事長が映像を利用して1年間の活動報告と今後の方針を提案しました。

「1年間の活動で会員が59名に、賛助会員が96名に、基金提供3174万円、寄付金70万円に達しました。若林区井土浜発電所・太白区柳生もりの子発電所ともに順調で、今後小風力発電や仙台市以外への発電所設置を視野に事業を具体化したい。」

活動計算書・予算書審議では「資産が340万円増えたが、ほぼ同額が17年間に固定資産税として納税される」ことが報告されました。役員改選では、武井さんが辞任し、松浦真さんが選出されました。

若林区見学会も実施



4月29日総会に先立ち、若林区見学会を実施。井土浜発電所に看板を設置し、荒浜慰霊塔で悼み、七郷風力発電を見学し、園芸センターのお花を鑑賞しました。



2016 年度総会へ「期待のひとつ」

尼ヶ崎ひろえさん(元坂病院看護師) 原発反対運動の具体的運動として貴重な事業だと思います。

阿部広力さん(元宮城県教職員組合書記長)太陽光等自然の恵みに感謝して生活できる社会にしていきたいと思います。

小畑光子さん(元宮城県保険医協会勤務) メモリアルアクションに参加し、あらためて節電の大切さを感じた。

矢野はしめさん(元長町病院ケースワーカー) 自然エネルギー施設見学会を楽しみにしています。

渡辺展子さん(泉病院総務課長)

順調に発電しているとのこと、うれしい限りです。

阿部理奈さん(長町病院医師)

ものすごくたのしいです。明るい未来!

福岡真哉さん(宮城厚生福祉会理事長)

今後の風力発電、期待します。

斉藤啓三郎さん(金曜デモ)小風力発電完成に期待します。

荒川節子さん(国民救援会泉支部)

どんどん発展していくこの運動、うれしく思っています。



きらきら発電のロゴマークです

NPOきらきら発電・市民共同発電所
〒981-3215 仙台市泉区北中山 3-17-12
広幡方 電話・FAX 022-379-3777
http://kirakirahatuden.com/
メール=kirakirahatuden@outlook.jp
News 第16号 2016年5月

6月25日「川崎町の資源を生かす会」と交流会

NPO「川崎町の資源をいかす会」は食料とエネルギーの100%自給を目指して、2001年から活動を開始した団体です。特に森林資源を活用した薪ストーブは高く評価されています。また薪を燃料に石窯ピザを作るぱびハウス川崎店を開設、ぱびハウスには手作りの水車小屋もあります。

きらきら発電では6月25日、「川崎町の資源を生かす会」との交流会を開催します。参加申し込みは事務局広幡または松浦(090-5180-7471)まで、6月17日が締め切りです。

9時長町病院玄関前集合→10時ぱびハウス研修室→10時半小水力発電候補地見学→12時ぱびハウスで交流昼食会→13時半広葉樹萌芽更新事業地見学→15時長町病院玄関前解散

参加費 1500 円(昼食代込)はきらきら発電が負担します。

ぱびハウス川崎店

宮城県柴田郡川崎町前川北原 22-9 電話:0224-85-1656



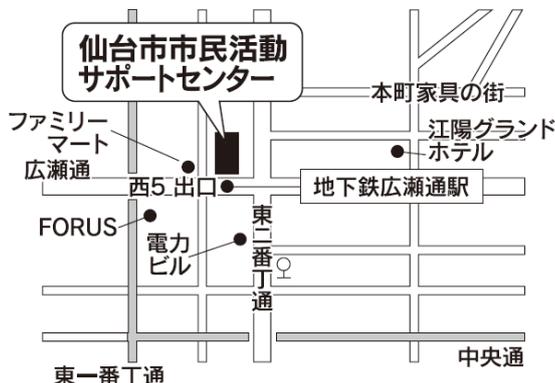
「電力小売り自由化」で社会がどう変わる

NPO法人きらきら発電学習会

- *とき* 6月5日(日)午前10時~12時
- *ところ* 仙台市市民活動サポートセンター
- *講師* エネシフみやぎ代表 浦井 彰さん

参加費は無料

仙台市市民活動サポートセンター
 仙台市青葉区一番町4丁目1-3
 電話 212-3010



電力購入切り替え 1, 2%

毎日新聞 4月29日(金)22時6分配信
 一般家庭や中小商店が電気の購入先を選べる電力小売り全面自由化が4月1日に始まって1カ月。ガスなどの新規参入事業者(新電力)が割安な料金や多彩なサービスを武器に契約を増やし、大手電力会社からの切り替え件数は22日現在で74万4400件。全国の対象契約件数の1.2%程度にとどまるが、冷房代などが気になる夏を前に新電力への切り替えがさらに伸びる可能性がある。

切り替えは、大都市圏を抱える東京電力ホールディングスと関西電力管内が全体の8割以上を占める。その激戦区で契約を伸ばすのが都市ガス。東京ガスはガスとの併用で料金を割り引くサービスなどを売りにガス機器販売店を拠点に営業を展開、4月25日時点で約28万件的契約申し込み。大阪ガスも26日現在で12.5万件。石油元売りJXエネルギーは17日申し込みが10万件を突破。